

現地実習 I

森林の調査と整備（人工林）

日時：平成20年10月11日（土） 10:00～15:00

講師：あいち海上の森センター職員・海上の森の会

概況



森林の手入れ(整備)を行う際には、現在の森林の様子と手入れの目的とその目的に適した手入れの方法について考える必要があります。実習を行う前に、今回の実習での森林整備の目的である幼児森林体験推進事業について説明を行いました。幼児森林体験推進事業は幼児に海上の森の自然や森林にふれあう機会を提供し、野外活動を通じて情操教育の場として森林を活用した環境教育を推進するため、森林体感プログラムの開発とフィールドの整備を行うことを目的としています。森の幼稚園の取り組みが先進的に実施されているドイツでの事例を、写真を交えて紹介しました。幼児期の森林環境教育のフィールド整備では、森林の中で自由に遊ぶ場の設置と保育士が子どもの行動を把握できるように見通しのよい林内環境を作ることが重要です。

【森林の調査】

森林整備を行う前に、現在の森林の様子を把握するために、整備を行う林分の調査を行いました。10m×10mの方形区を設定し、胸高直径5cm以上の樹木を対象とした毎木調査を実施しました。測定個体の立木位置図を作成しました。

【森林の整備】

幼児森林体験推進事業における森林整備内容は、幼児が林内で自由に安全に遊ぶことができる遊具の設置、林内を明るくすることと、林地への出入口と林内への歩道

の設置を行うこととしています。今回の実習では、平成 21 年 3 月にオープン予定の
幼児森林体験フィールドにおいて中低木の伐採とササの除去作業を行いました。